

会派代表質問
「会派名」日本共産党市議団
「氏名」小川安士

問 米軍はアメリカに對する保安にどう應えるのか、
その世界展開として、外国に配備される基地、
強化認定が続けられ、
に固定化され、
いかに基地のナダ。市への十分か。岩国が、
アメリカのカロシナの兵器で破壊と殺りか。続
く、ウクライナのようになるのでは注視するか。
答 どこの基地にも不安はあるので注視する
どはない。増加しているが、大きな地域変化な
策となっていない。基地が攻撃対象となる不安
は岩国に限らず、全国の基地所在地域で、有
事の間に攻撃対象になる不安を感じるとい
う意見がある。必要は、
せ、検討する。必要は、
とし、
国の安全確保は、
し、
その他。質問の強化について
1 農業支援策の強化について

2 . J R 岩 徳 線 の 利 便 性 、 増 便 に つ い て

会派代表質問
「氏名」松本久次
「氏名」憲政会

問 岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略
について

岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基
本理念と基本目標の中心地と中山間の基
地域との連携や交流、また、基地のある街の
特性を生かした国際交流など、を推進し、人
もこの流れを生み出すことなどが重要である。
岩国市中山間地域振興基本計画との整合性に
ついて伺う。

第2次岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦
略におおむね「一」基本目標2「ご創生総合戦
略」を支援する。支那は、医療や観光、農林水産業の経営
分野の中で中山間地域振興基本計画との整合性
を掲げ、中山間地域振興基本計画との整合性
を図っている。

問 JR 徳線の代替手段の検討について
 示された。JR 徳線に利用促進の取組を進め、利便性の向上
 を図りたい。大事であるが、利用者にとって、今は後
 非減少が見込まれることから、バス輸送など
 も減が見込まれることから、バス輸送など
 代替案の検討も求められ、が市取組を伺う
 答 JR 徳線に促進の取組を進め、利便性の向上
 欠かさない移動手段である、が市取組を伺う
 と協力したい。促進の取組を進め、利便性の向上
 での構築も求められ、が市取組を伺う
 の再構築も求められ、が市取組を伺う
 も選択肢と求められ、が市取組を伺う
 ら協議を進める。関係自治体とも連携しなが
 そろ他の質問項目。整備事業について
 O J R 岩国駅周辺整備事業について
 O S R 岩国駅周辺整備事業について
 O 炭素社会実現に向けて
 G X リーグへの取組と支援についで
 ー ー

会派代表質問
 氏名
 河合伸治
 河合伸治
 河合伸治

問 散 後 の グ リ ン オ ア シ ス の 周 陽 環 境 整 備 組 合 て
 い る ボ イ ラ 運 営 と 耐 用 年 数 を 大 幅 に 過 ぎ て
 こ と か ら 考 え ボ イ ラ の 不 具 合 へ の 対 応 と 早 期
 更 新 へ の 考 え を 伺 う 。 は 、 周 陽 環 境 整 備 組 合
 答 散 後 も 温 水 プ ー ル と し て 、 岩 国 市 が 引 き 継 い
 で 管 理 運 営 を し て い く 。 プ ー ル に 温 水 を 給
 し て い る ボ イ ラ の 度 合 に つ い て も 運 転 に 不 具 合 が 生
 じ ば 不 具 合 の 度 合 持 管 理 に よ る が 、 基 本 的 に
 は 修 理 を し な が ら 維 持 管 理 に 努 め て い く 施 設
 の 規 模 改 修 が 必 要 な 場 合 は 、 利 用 の 状 況 や 施 設
 の 状 況 を 勘 案 し て 決 定 す る 利 用 の 状 況 や 施 設
 新 や 予 防 的 な 改 修 措 置 に つ い て は 早 期 的 な

一 般 質 問
 氏 名
 植 野 正 則
 二 葉 会

直のじのそのれの介に答す減おがあて入がの問
 し対て対のて負護入 べき緩む、ると院、証入
 に象く象他い担保所特きと、一定いものお課書が明入院
 つ外る外日るは険給れ養はす和代ののく大のおむ世税あ
 いで。とさ品にいがのい老い意成件を満自治体なっは、
 であるうれとつが、対象とさつムえても、院金額に差現
 、今入院たい様には、の療のいた、本家族の負担は、
 後、時の状をめお額のた、お人保を問検、
 、検のお踏、むツた、め、む、つ、代は、
 討おつまえ用の代ドに、入、費、
 しむつま費用代も医療や食院費、
 てつえ用の代も医療や食院費、
 い代の、の負医療や食院費、
 く、の助成の保険見、
 。助成の保険見、

一 般 質 問
 氏 会 派 名 名
 中 公 明 党
 豊 議 員 団

問 世 界 文 化 遺 産 につ いて
 ア 活 用 計 画 の 方 針 につ いて
 答 極 端 文 化 庁 の 動 向 を 注 視 し、
 の 適 切 な 働 き か け を 行 っ て、
 存 続 技 術 を 確 実 に 継 承 す、
 境 界 保 全 し、 地 域 に 住 民 の 生 活 ・ 生 業 が
 維 持 ・ 発 展 す る た め の 醸 成 を 図 り な が ら ま ち づ
 く 域 内 の 保 全 展 示 地 域 の 住 民 の 生 活 ・ 生 業 が

一	氏	名
般	会	派
質	名	名
問	中	憲
	村	政
	雅	会
	一	

一般質問
 田村博美
 憲政会

問 答

橋を中(西岩国地域のまちづくり)に
 ついては、錦帯
 橋を中心とした岩城の価値や歴史と
 を知って、錦帯橋の歴史や構造、国の
 文化、景観の価値、歴史や構造、国の
 文化的景観の価値、歴史や構造、国の
 スポットなど、現地を歩き、前知
 体験ができる展示を、検討する。時
 期を学び、岩
 国城下地区の観光の入り口となる重
 要な施設。
 来年は、整備工事の進捗を、実
 施する計画を、行
 う。8年後、完成予定である。
 その他、地域のまちづくりにつ
 いて

② ① 1 そ き で 山 答 い た も も に を 空 て こ 問
 通 適 学 の た 課 口 　 て 国 多 多 近 与 き き こ 空
 学 正 校 他 の い 題 県 現 市 土 く 数 隣 え 家 て 数 空
 区 規 規 の と 等 に 在 市 と 交 な 見 の 生 の 多 いる 年 き
 域 模 模 の 考 が 照 在 し 通 っ か の 活 環 。 特 国 策
 の ・ ・ 問 質 考 え 見 会 な 入 の の 。 空 空 よ 境 通 草 に 市 総
 指 適 配 項 て いて くと し て お り し て 検 討 を 重 ね 中 や
 定 正 置 の る 。 ば 、 適 切 に 対 応 し て い
 の 配 置 に 正 化 に す る 取 組
 在 置 適 正 化 に す る 取 組
 り 対 す る 取 組
 方 対 す る 取 組
 に 対 す る 取 組
 っ て 組
 いて 組

一	般	質	問
〔	氏	名	〕
〔	会	派	名
〕	藤	本	泰
	創	志	会
	也		

をの 答 創 い 騰 た 口 定 つ ー 緊 提 産 問
 検 支 設 る が に 県 の い 配 急 出 資
 討 援 今 が 本 予 す の 評 て 合 支 さ 材 近
 し 策 後 必 市 測 ぎ な 助 を 質 飼 援 補 た の 年、
 て の 資 と し れ い 事 行 を 問 料 補 助 農 騰 農
 い 状 材 考 て る 事 業 が っ 高 ー 業 者 続、
 く 況 等 え、 が 追、 だ 騰 や を 中 産
 。 に の る 他、 が 多 随 こ の 策 畜 援、 業
 応 じ 高 が 市 一 次 い し の 内 れ 緊 産 す 今 及
 て 騰 い か 負 業 今 の 容 ら 急 農 る 回 び
 、 に が け 業 の 後 半 に の 支 家 ー 補 漁
 市 つ が け 業 の 後 半 に の 支 家 ー 補 漁
 と い か な の 後 半 に の 支 家 ー 補 漁
 し て ° い 振 も 額 つ 議 援 を 農 正 業
 て は ° 補 興、 を い 案 事 支 業 予 算 関
 の、 助 事 唱 資 材 の せ、 山 一
 支 国・ 業 の て 高 し 山 一
 援 県 の て 高 し 山 一
 策 県 の て 高 し 山 一

一
 般
 質
 問
 氏
 会
 派
 名
 名
 藤
 重
 建
 治
 新
 政
 和
 会

問 健 答 含
風 康 問 含
力 被 康 め
発 害 健 情
電 も 康 報
で あ 被 こ
は 害 と
承 取
知 集
し 承
め 集
る 努
。 い 努
る め
の 集
で 集
、 集
国 集
の 集
動 集
向 集
も 集

問 美 答 含
和 美 答 含
町 町 美 含
に 町 美 含
建 町 美 含
設 町 美 含
中 町 美 含
の 町 美 含
太 町 美 含
陽 町 美 含
光 町 美 含
発 町 美 含
電 町 美 含
所 町 美 含
の 町 美 含
か 町 美 含
。 町 美 含
に 町 美 含

一 般 質 問
御 楯 會
石 本 崇

問 本市の地域医療について
 本市の医師・看護師数の推移などを踏まえ、
 市は現状をどのよう捉え、今後、どう取り
 組んでいくのか。看護師数には、山口県全体に
 おける本市の医師・看護師の比率を下回る状
 シタ欠員の看護士にたいしては、近年、新規採用
 者に不足が生じている。と伺っています。この
 看護師の確保に向けては、市内施策を、
 と、市で、市内学校卒業生、新たな市内就職率の割合を
 令和8年度を目途に、5パーセントト上昇させ
 た。と考えている。タ
 提 言 岩 国 医 療 セ ン タ ー 附 属 岩 国 看 護 学 校 、
 Y M C A 国 際 医 療 福 祉 専 門 学 校 保 健 看 護
 及 び 保 育 士 養 成 学 校 国 短 期 大
 科 学 校 へ の 支 援 を 検 討 す る こ と を 提 言 し た 。
 各 学 校 へ の 支 援 を 検 討 す る こ と を 提 言 し た 。

一 般 質 問
 氏 名 派 名 名
 矢 野 湧 水
 匡 亮

一般質問
 憲政会
 武田伊佐雄

問

療費を無償化して自らが、
 医療費の助成に ついては、
 大すべきだとな提言して、
 てどのよくな検討がなされたが、
 自衛隊基地を擁抱え、人口規模も本市と同様の航空
 小松市では基地の投入も医療費用の無償化に取り
 の一般財源を投入して医療費の無償化に取り
 組んでいる。本市も工夫次第で拡充でき
 か。このように医療費の助成は、
 答。格差が生ずることは、
 いて公平に医療費を給付するよ
 い法律の保障をいっ
 そ。創設にいつい
 く。望しめて、
 要望して、
 強、

ト 答 の 持 感 な か 洗 問
 ・ 持 ち ・ っ ら 濯
 デ よ ち 帰 感 て 今 を 保
 メ り 帰 り 染 お も 繰 育
 リ 質 り の 症 お り 続 り 園
 ツ の の 見 予 、 い 返 で
 ト 高 見 直 防 衛 て し の
 を い 直 し を ど 面 る 用 用
 検 保 し に 求 の の 。 し 済
 証 の つ め 理 不 今 て み
 し な 提 いる 由 安 日 い お
 が 供 て 声 に や で た む
 ら に 問 も よ 臭 は 布 つ
 検 向 う 多 り 気 、 お の
 討 け 。 く 、 お よ お つ ち
 し 、 、 お む る む の 帰
 て メ お む つ 不 つ 時 り
 い リ む つ の 快 と 代 は
 く ツ つ の 快 と 代 は
 。

ど 答 1 方 あ 半 か へ 大 1 問
 の 歳 も り 検 し 復 変 歳 1
 御 子 児 多 、 診 、 帰 成 児 1
 意 育 健 く 子 ま 乳 す 長 に 歳
 見 て 康 、 育 で 児 る も つ 児
 も 支 診 1 て の 期 な 著 い 健
 伺 援 査 歳 家 11 の ど し て 康
 い の の 児 庭 か 7 不 い は 診
 な 充 導 健 で は 月 か 安 時 乳 査
 が 実 入 康 は は 月 の 期 児 の
 ら の に 診 不 検 検 多 で か 導
 検 た つ 査 安 診 診 い あ ら 入
 討 め い を に の か 時 り 幼 に
 し に て 求 思 な ら 期 、 児 つ
 て 、 問 め っ い 幼 で 保 へ い
 い 小 う る て 空 児 も 護 と て
 く 児 。 科 が あ る 白 期 の 者 変
 。 医 あ れ 間 1 。 仕 る 、
 な る る で 歳 し 事

一 般 質 問
 氏 会 派 名 名
 越 公 明 党 議 員 団

問 若者層の人口流出や技術取得支援に公的
 機 関の積極活用を
 本 市は現在、第3次総合計画を策定中。第2
 次 総合計画にも若年層の支援に
 に 対し、基本方針の新支那人口流出や課税認識
 が あり、基本方針の中で、若者が地元で働
 く ことができるまちを、目指すところ。これは
 企 業誘致も、ちろん、既存の企業にも重要
 技 術習得の機会を、少くない本市では、公的
 例 えば、人材育成が、必要と考へる。積極的
 よ る人材育成が、必要と考へる。積極的な活
 答 える。山口県において、整備に、向けた
 ら れて、山口県において、整備に、向けた
 一 覧に、おいて、山口県において、整備に、向
 援 機 関の、おいて、山口県において、整備に、向
 今 後、山口県において、山口県において、整備に、向
 て 、山口県において、山口県において、整備に、向

一 般 質 問
 氏 名
 桑 田 勝 弘
 公 明 党 議 員 団

切産療診事泊産か遣しルす娠
 れ婦機査業7後月でてパい期
 目が関受の日4で育い1産か子妊
 な孤に診周をか25児る。遣後ら育て・
 く立も票知に限とでで家事援者
 支し紹にも妊し、利用でき受い産後ケア事子不安にや妊
 援ない。り届て医療機関が産後いケ。ルパ1実施へ
 するで今1届て医療機関が産後いケ。ルパ1実施へ
 。育後もッや機関を産後利強いケ。ルパ1実施へ
 児に地ト出産を産後利強いケ。ルパ1実施へ
 取り域のを産後利強いケ。ルパ1実施へ
 りの資同封の乳児健。6は6派施へ
 組源を産後利強いケ。ルパ1実施へ
 め源を産後利強いケ。ルパ1実施へ
 るを産後利強いケ。ルパ1実施へ
 よ利用産科医康。6は6派施へ
 うにし、
 にし、

答 問

一
 般
 質
 問
 一
 氏
 会
 派
 名
 名
 一
 一
 姫
 野
 敦
 子
 一
 一
 リ
 ベ
 ラ
 ル
 岩
 国

問 　　で、半令和3年生10月の市内高校生
 査 　　結果が出ている。市内に就職先がないと
 が 　　大きくなっている。熊本県菊陽町では、こう
 湾 　　を大手の半導体企業がある。熊本県菊陽町では、こう
 円 　　を助成するのと、経済産業省が約4,800億
 を 　　助成するのと、経済産業省が約4,800億
 果 　　は熊本の中心地である。熊本県菊陽町では、こう
 一 　　方、岩国市は、高速道路と
 業 　　に進出している。熊本県菊陽町では、こう
 い 　　る。熊本県菊陽町では、こう
 せ 　　めて、台湾等、国際線が、航空
 と 　　思う。台湾等、国際線が、航空
 答 　　と、台湾等、国際線が、航空
 に 　　直結する。台湾等、国際線が、航空
 用 　　に直結する。台湾等、国際線が、航空
 誘 　　致の、実現に努めて、い
 致 　　し、実現に努めて、い

一般質問
 氏名
 重岡邦昭
 市民クラブ・草の根

一般質問
〔会派名〕 日本共産党市議団
〔氏名〕 大西明子

問 とうを求め、岸田首相は安部元首相の国葬を
9月27日に実行しようかと閣議決定した。国葬は
国民に事実上弔意を強制することになる。学校の
政治的・中立の定めや、教育基本法に反する。
思想・良心の自由や学問の自由が大なりと求め
に弔意を求め、通告は出すべきでない。と求め
た。文部科学大臣が「自治体や教育委員会など
どに對する弔意表明の「協力要請はしない」と
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
問 とうを求め、岸田首相は安部元首相の国葬を
9月27日に実行しようかと閣議決定した。国葬は
国民に事実上弔意を強制することになる。学校の
政治的・中立の定めや、教育基本法に反する。
思想・良心の自由や学問の自由が大なりと求め
に弔意を求め、通告は出すべきでない。と求め
た。文部科学大臣が「自治体や教育委員会など
どに對する弔意表明の「協力要請はしない」と
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、

問 とうを求め、岸田首相は安部元首相の国葬を
9月27日に実行しようかと閣議決定した。国葬は
国民に事実上弔意を強制することになる。学校の
政治的・中立の定めや、教育基本法に反する。
思想・良心の自由や学問の自由が大なりと求め
に弔意を求め、通告は出すべきでない。と求め
た。文部科学大臣が「自治体や教育委員会など
どに對する弔意表明の「協力要請はしない」と
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
問 とうを求め、岸田首相は安部元首相の国葬を
9月27日に実行しようかと閣議決定した。国葬は
国民に事実上弔意を強制することになる。学校の
政治的・中立の定めや、教育基本法に反する。
思想・良心の自由や学問の自由が大なりと求め
に弔意を求め、通告は出すべきでない。と求め
た。文部科学大臣が「自治体や教育委員会など
どに對する弔意表明の「協力要請はしない」と
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、
慎重に對し、国や県教育委員会の動向を注視し、